

平成29年度

長野救命医療専門学校 学校関係者評価 自己点検報告書

# 教職員自己点検結果

1 教育目標

医療等に携わる者として、「確かな専門性」と「豊かな人間性」を兼ね備えた学生を育成する。

そのため次の視点から専門教育と人間教育の統合を図る。

- ①自己研鑽に励む優れた教職員が、充実した施設・設備を駆使して、学生の期待に応えるための専門教育を展開する。
- ②学生が自ら学び共に磨き合うことを大切にしながら、基礎基本の確実な定着と実践的態度の向上を図り、医療等のスペシャリストを養成する。
- ③傷病者の治療・施術や指導、心のケアを担当する医療・福祉スタッフの一員として、優しい心で真心を尽くすことが出来る学生を養成する。

2 建学の精神(校歌三心)

- 1 自主(医術) ～救命医療に関する知恵を修め技術を磨く
- 2 愛(意思) ～救命医療の業務に誇りを持ち、慈愛の心を耕す。
- 3 至誠(医道) ～救命医療の道における誠実な在り方を究める

3 学校運営の重点

1、個性の開発

- (1)基礎基本となる学力の確かな定着を図る。
- (2)主体的な学習態度を育成する。
- (3)学生相互の信頼関係を深化し、切磋琢磨し合う集団を形成する。

2、特色ある教育課程の編成

- (1)教育内容を精選し、その関連性と発展性を明確にする。
- (2)救命医療に係る実践的な教育内容の充実を図る。
- (3)「確かな専門性」とともに、「豊かな人間性」を育む展開を組織する。

3、生活指導の徹底

- (1)学生を共感的に理解し、自立するよう支援する。
- (2)基本的生活習慣の定着と健康安全に関する指導を徹底する。
- (3)定期教育相談、並びに必要に応じた個人面談等を実施する。

4、開かれた学校

- (1)地域社会との連携を図り、諸活動に積極的に参加する。
- (2)学校評価、並びに学校関係者の協力を得て、学校運営の向上を期する。
- (3)保護者懇談会、保護者説明会等を実施する。

5 評価項目の達成及び取り組み項目

※該当する数字に○印、[ ]内にご意見がございましたら記入してください(改善支援シートと重複しても構いません)

(1) 教育理念・目標

(数値は左が28年度、右が29年度)

| 評価項目  | 4(適切)・3(ほぼ適切)<br>2(やや不適切)・1(不適切) |      |
|---|----------------------------------|------|
|   | 28年度                             | 29年度 |
| 教育目標・育成人材像は定められているか                             | 4.00                             | 3.80 |
| 教育目標・建学の精神・育成人材像等が学生・保護者等に周知されているか              | 3.82                             | 3.30 |
| 教育目標・建学の精神・育成人材像等は、各学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 3.91                             | 3.30 |

①課題

- ・常に学生の現状を踏まえた目標へ見直す
- ・保護者へのアピールの強化

②今後の改善方策

- ・各業界で求められる人間像を学科で把握し、目標に組み込む。
- ・授業参観や学校行事への参加を促す。

③特記事項

特になし

(2) 学校運営

(数値は左が28年度、右が29年度)

| 評価項目                                     | 4(適切)・3(ほぼ適切)<br>2(やや不適切)・1(不適切) |      |
|--|----------------------------------|------|
|  | 28年度                             | 29年度 |
| 学校運営方針は策定されているか                          | 3.73                             | 3.70 |
| 運営方針に沿った事業計画が策定されているか                    | 3.64                             | 3.60 |
| 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 2.91                             | 3.50 |
| 人事・給与に関する規程等は整備されているか                    | 3.09                             | 3.30 |
| 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか           | 3.27                             | 3.50 |
| コンプライアンス体制が整備されているか                      | 3.27                             | 3.20 |
| 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                 | 3.91                             | 3.80 |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか                | 3.64                             | 3.50 |

①課題

- ・時間外業務に対する補償(手当)がない。また代休を取るための人員がいない。

②今後の改善方策

- ・代休が取れない場合の手当の予算化

③特記事項

特になし

## (3) 教育目標

(数値は左が28年度、右が29年度)

| 評価項目  | 4(適切)・3(ほぼ適切)<br>2(やや不適切)・1(不適切) |      |
|---|----------------------------------|------|
| 教育目標等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか                             | 3.73                             | 3.60 |
| 教育目標・人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 3.82                             | 3.80 |
| 学科のカリキュラムは体系的に編成されているか                                      | 3.91                             | 3.80 |
| キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか          | 3.45                             | 3.20 |
| 各関連分野の実習施設等の関係施設や各団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか          | 3.45                             | 3.30 |
| 実践的な職業教育(実技・実習・演習・インターンシップ等)が体系的に位置づけられているか                 | 3.18                             | 3.10 |
| 授業評価の実施・評価体制はあるか  | 3.18                             | 3.10 |
| 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか                                 | 3.73                             | 3.50 |
| 成績評価・単位認定・進級判定・卒業判定の基準は明確になっているか                            | 3.09                             | 3.50 |
| 資格取得等に関する指導体制、カリキュラム中での体系的な位置づけはあるか                         | 3.55                             | 3.40 |
| 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                     | 2.91                             | 2.70 |
| 関連分野における各団体との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか     | 2.82                             | 2.90 |
| 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか | 2.64                             | 2.90 |
| 職員の能力開発のための研修等が行われているか                                      | 2.73                             | 3.10 |

## ①課題

- ・学習習慣のない学生が多い
- ・外部での実習や研修の機会が少ない(柔道整復師学科)
- ・成績評価の段階の見直し(90点以上をS評価にする)
- ・教員向け研修会への参加の機会が少ない。

## ②今後の改善方策

- ・日常の学習の習慣化を図るための工夫をする。
- ・関係団体にご協力を依頼し、積極的に参加できるシステムを構築する。
- ・段階的に実施できるか研究する
- ・年度を通して計画的に参加ができるよう計画し、予算化できるか研究する。

## ③特記事項

学力不振者の学力向上のため、定期試験と再試験の間で補習授業を実施。また各学科で個別指導を実施している。

## (4) 学修成果

(数値は左が28年度、右が29年度)

| 評価項目                                  | 4(適切)・3(ほぼ適切)<br>2(やや不適切)・1(不適切) |      |
|---------------------------------------|----------------------------------|------|
| 就職率の向上が図られているか                        | 3.27                             | 3.20 |
| 資格取得率の向上が図られているか                      | 3.45                             | 3.40 |
| 退学率の低減が図られているか                        | 3.00                             | 3.40 |
| 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか            | 3.20                             | 3.20 |
| 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3.09                             | 3.10 |

## ①課題

- ・将来の就職に向けた自覚が乏しい
- ・救急救命士学科の1年次での退学者が多い
- ・不合格者に対する原因の把握ができておらず、次年度以降に生かされていない。
- ・学生の就職先や開業した学生との情報交換が少ない

## ②今後の改善方策

- ・積極的に学会への参加や校内での就職説明会の実施等、入学当初より意識を高める。
- ・退学の意思決定前のアプローチ方法の見直し(発見・指導・支援等)
- ・過去に遡り、不合格者の在学3年間の成績の推移を分析し、在校生の指導に生かす
- ・企業等を訪問し、経営者から直接意見を聞く機会を作り、指導に活用する。

## ③特記事項

## (5) 学生支援

(数値は左が28年度、右が29年度)

| 評価項目                               | 4(適切)・3(ほぼ適切)<br>2(やや不適切)・1(不適切) |      |
|------------------------------------|----------------------------------|------|
| 進路・就職に関する支援体制は整備されているか             | 3.27                             | 3.20 |
| 学生相談に関する体制は整備されているか                | 3.27                             | 3.40 |
| 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか            | 3.45                             | 3.70 |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか                 | 3.36                             | 3.20 |
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか              | 3.27                             | 3.20 |
| 学生の生活環境への支援は行われているか                | 3.18                             | 3.10 |
| 保護者と適切に連携しているか                     | 3.36                             | 3.50 |
| 卒業生への支援体制はあるか                      | 3.27                             | 3.10 |
| 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか          | 3.18                             | 3.20 |
| 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか | 3.27                             | 3.20 |

## ①課題

- ・一部の学生の保護者とは連絡・面談を行っているが、すべての保護者には徹底されてい
- ・卒業後、退職・転職した卒業生の把握と指導ができていない
- ・課外活動、ボランティア活動への参加が少ない(柔道整復師学科)

## ②今後の改善方策

- ・面談時間が取れないご家庭には電話で状況を確認する
- ・在学中に就職に対する意識付けをさせ、卒業後も定期的に連絡を取れるシステムを構築する。
- ・市町村で行われている活動の情報収集と学生への参加の推進

## ③特記事項

特になし

| (6) 教育環境                                   |                                  | (数値は左が28年度、右が29年度) |  |
|--|----------------------------------|--------------------|--|
| 評価項目                                       | 4(適切)・3(ほぼ適切)<br>2(やや不適切)・1(不適切) |                    |  |
| 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか            | 3.18                             | 3.00               |  |
| 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 3.09                             | 2.60               |  |
| 地球環境に配慮した指導体制(クールビズ・ウォームビズ)が整備されているか       | 3.45                             | 3.60               |  |
| 防災に対する体制は整備されているか                          | 3.64                             | 3.90               |  |

①課題

- ・新しい資機材への入れ替え
- ・資機材の破損が多い
- ・クラスによって教室内の整理整頓ができていない。また、その指導ができていない。
- ・学外実習施設の確保(柔道整復師学科)

②今後の改善方策

- ・長期的な視野で入れ替えの計画を各学科で検討する。
- ・使用方法の指導並びに、破損した場合の報告を徹底させる。
- ・教員・学生の意識向上を図る。
- ・各関係団体との連携を図り、学生の教育活動にご協力いただくよう依頼する

③特記事項

特になし

| (7) 学生募集                   |                                  | (数値は左が28年度、右が29年度) |  |
|----------------------------|----------------------------------|--------------------|--|
| 評価項目                       | 4(適切)・3(ほぼ適切)<br>2(やや不適切)・1(不適切) |                    |  |
| 学生募集活動は適正に行われているか          | 3.45                             | 3.20               |  |
| 学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか | 3.64                             | 3.20               |  |
| 学納金は妥当なものか                 | 3.55                             | 3.60               |  |

①課題

- ・授業が多く学生募集に出られる教職員が少ない。
- ・学生募集に対する教職員の意識が低い
- ・他の養成学校との差別化
- ・学校をアピールする特徴に説得力が感じられない。

②今後の改善方策

- ・専門で活動できるスタッフの補充が必要
- ・全教職員がすべての質問に答えられるよう、研修会を開く。
- ・本校の特徴を全面的にアピールし、かつそれに見合う学生のスキルアップを目指す。
- ・国家資格取得率100%、就職率100%を達成できるよう両学科の研究を強化する。

③特記事項

特になし

| (8) 財務                   |                                  | (数値は左が28年度、右が29年度) |  |
|--------------------------|----------------------------------|--------------------|--|
| 評価項目                     | 4(適切)・3(ほぼ適切)<br>2(やや不適切)・1(不適切) |                    |  |
| 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか | 3.09                             | 2.60               |  |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3.18                             | 3.10               |  |
| 財務について会計監査が適正になされているか    | 3.36                             | 3.60               |  |
| 財務情報公開の体制整備はできているか       | 3.55                             | 3.40               |  |

①課題

- ・学生数の減少に伴う収入の減少
- ・学生数の確保

②今後の改善方策

- ・学生数の確保を優先的に行う。
- ・今までの活動の強化に加え、地域の関係団体へも協力を依頼する。

③特記事項

特になし

| (9) 法令等の遵守                    |                                  | (数値は左が28年度、右が29年度) |  |
|-------------------------------|----------------------------------|--------------------|--|
| 評価項目                          | 4(適切)・3(ほぼ適切)<br>2(やや不適切)・1(不適切) |                    |  |
| 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 3.45                             | 3.50               |  |
| 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか    | 3.55                             | 3.60               |  |
| 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか         | 3.55                             | 3.50               |  |
| 自己評価結果を公開しているか                | 3.73                             | 3.70               |  |

①課題

- ・情報公開の方法がインターネットしかない
- ・個人情報の管理ができていないケースがある。
- ・接骨院内に実習や治療以外の学生が入り出している
- ・教職員と学生間の距離が近すぎる
- ・昨年の問題点の改善があまり進んでいない。

②今後の改善方策

- ・その他の公開方法を研究し、学生や保護者へも周知する
- ・成績表等、個人情報の書類は第三者の目に入らないよう管理を徹底する。
- ・接骨院は公共の場であるので、必要以上の出入りは禁じ、入退室も安易に行わないよう指導する。
- ・お互いに節度を持った行動をするよう見直す
- ・教職員総力をあげて、改善に努める

③特記事項

特になし

| (10) 社会貢献・地域貢献                  |                                  | (数値は左が28年度、右が29年度) |  |
|---------------------------------|----------------------------------|--------------------|--|
| 評価項目                            | 4(適切)・3(ほぼ適切)<br>2(やや不適切)・1(不適切) |                    |  |
| 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3.82                             | 3.60               |  |
| 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか          | 3.55                             | 3.20               |  |
| 地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか         | 3.73                             | 3.50               |  |

①課題

- ・地域における教育活動の実施(柔道整復師学科)

②今後の改善方策

- ・スポーツボランティア活動、福祉分野での活動

③特記事項

特になし